

課題から見るサービスの全体像

誰の、どんな仕事や困りごとを助けるのか

同じ「法律AI」でも、利用者と、引き受ける仕事が違う。

困りごと → 支援の形	専門家・相談機関 BtoB・業務向け	事業者 BtoB・法律支援を受ける側	一般の人 BtoC・公的な一般向け提供
1 必要な情報を探せない 調べる・見つける	判例・法令を調査する 大量の資料から根拠を探す 例： スーパーロイヤー（SuperLawyer） [15]	法律上の疑問を調べる 事業上の問題の手掛かりを得る 例： ロケット・ロイヤー（Rocket Lawyer） [9]	困りごとから情報に届く 法律用語を知らなくても尋ねる 例： リア（LIA） [3]
2 読んでも意味・論点が分からない 理解する・判断を支える	論点と根拠を整理する 判断の違い・引用箇所を確認する 例： エルボックス（LBOX） [16]	契約などの文書を理解する 要点・重要条項・確認点を整理する 例： ドック・アシスト Doc Assist（LegalZoom） [25]	制度を平易な言葉で知る 自分の問題に関係する情報を読む 例： ビーグル・プラス（Beagle+） [2]
3 書類・手続に手間がかかる 作る・進める	法律文書の下書きを作る 専門家の起案作業を補助する 例： スーパーロイヤー [15]	債権回収の手続を支える 書面作成や請求の進行を支援する 例： ガーフィールド・ロー（Garfield.Law） [8]	手続の進め方を知る 今回の事例は案内中心。実行とは別 例： エイバ（AVA） [1]
4 相談の費用・待ち時間が負担 専門家につなぐ・対応を支える	相談員の回答作成を助ける AIの回答案を上司が確認する 例： キャディ（Caddy） [7]	必要時に専門家へ相談する AIでの確認から人の相談へ進む 例： ロケット・ロイヤー [9]	人を介して支援を受ける AIを使うのは相談員。本人に直接出さない 例： キャディの相談窓口 [7]

知識を届ける 適用する時期・地域と、根拠を確かめる	作業を支える 入力と作成物を、誰が確認するか決める	手続を進める 実行前の承認と責任の所在を決める
-------------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------

本調査の事例に基づく当社の整理。複数のマスにまたがるサービスもある。BtoB・BtoCは利用場面の目安で、公的・非営利の提供も含む。出典番号は本文と共通。